

熱海「盛り土」流出事故

被害者の会会長・瀬下さんに聞く

無能な行政 おとなしい住民

はびこる悪徳業者たち

熱海で起きた盛り土の流出で、多くの人命、生活が理不尽に奪われました。ご自身も母親を今回の事故で亡くされた熱海市盛り土流出事故被害者の会の会長・瀬下雄史(せしもゆし)さんに、地域防災や事故の背景、住民の命と財産を守るべき自治体の対応などについて、お話を聞きました。(文責・見出し編集部)

伊豆山の山の方は溶岩の硬い地盤で、急こう配ですが過去数百年でも発生していません。盛り土を造成した土地の前所有者と現在の所有者を訴えています。前所有者は、熱海市に対して恫喝めいた形で許可を押し通した人物で、市の資料にもそういった記録が残っています。高さ15メートルで申請したところに実際は50メートル以上積み上げていました。熱海市から何度もあった指導をのりくらりとかかわしており、悪質性が高いと



瀬下雄史さん



伊豆山の崩落現場周辺図

を見送った経緯があります。その理由を我々は追及していきます。命令が出ればきつくと状況は変わっていました。自治体として措置命令を出さなくても法的には問題ないのでしょうか。

崩れたら熱海駅周辺が壊滅的な被害をうけると言われています。今回の盛り土7万㎡に対して、第二の盛り土は10万㎡以上ともいわれています。市は崩落の危険性は少ないといっていますが、根拠はありません。それを聞かれると黙ってしまふ始末です。住民は「市長は何を考えているのか」という反応です。

「今なぜ地域活性化か」

現場の近くに第二の盛り土

措置命令を見送った熱海市長

静岡県と熱海市で措置命令を出すという決定事項がありました。熱海市長がそれ

住民説明会で行政は、これを契機に伊豆山を観光地として活性化したい、ハイキングコースやワーケーション施設、ミスベリングの施設を作

万5千㎡くらいの土砂が残っています。あまり報道されていませんが、崩落現場のすぐ近くに同じ業者による「第二の盛り土」があって、そこが

厳しい法整備を

罰金100万、抑止力なし

正攻法では行政に責任を取らせられない状況があります。今回の件を受けて色んな自治体で盛り土を届け出制から許可制にいく動きがあります。静岡県も許可制に変わりましたが、最終的には厳しい立法を整えるべきです。

20年後に起きるので、3年の時効で良いわけがない。罰金も100万円と軽微な額です。山に不法投棄して億を儲ければ、100万円など必要経費レベルです。抑止力になっていません。

法律を変えることが重要で、その第一歩として前所有者には、しっかりと重い罰を

私の母の隣の家では、44歳のお主人と17歳の娘さんが亡

悪徳業者は、無能な行政、おとなしい住民がいるところには、どこでもはびこる。熱



被害を受けた岸谷地区の様子(写真:瀬下さん提供)

【熱海市盛り土流出事故】

2021年7月3日(土)10時30分頃、熱海市伊豆山にて違法に造成された盛り土崩落による土石流が発生。犠牲者26人、行方不明者1人を出し、130戸以上の家屋が甚大な損害を受けた。遺族ら70人は被害者の会を結成して、土地の前所有者と現所有者を刑事と民事で告訴、行政の対応も問題視している。

3年。盛り土の事故は10年、

現状の森林法でいえば時効は

声をもつて

おとなしい住民がいるところ

不正やおかしなところがあれば情報を共有して、勇気をもつて声をあげてほしいと思